DO YU 同友みやざき MIYAZAKI journal
No.412
2024. 6.17
info@miyazaki.doyu.jp
https://miyazaki.doyu.jp

今月の スポットライト Spotlight

ふるさと三股町を盛り上げていく！

（株）ハラケアシステム
代表取締役
原 秀直さん

きりしま支部

事業について教えて下さい。

三股町で介護事業を経営し、今年で10期目を迎えます。大学卒業後、警察官になりましたが水が合わず退職し、その後志した法律家の道も断念しました。夢破れて、社会から求められていないと感じてどん底だった時に出会ったのが介護施設での仕事でした。やりがいのある仕事と思っていましたが、働く人は、「やめたい・給料が安い・仕事がきつい」と嘆き、入居者は「ここは地獄。早く死にたい」と言う。病院のソーシャルワーカーからは、重度の方の受け入れ先が見つからず、苦労をしている現状がありました。

病院や施設は人を幸せにしてくれる場所だと思っていた私の認識とあまりに違う現状を目の当たりし、起業するしかないと決意。介護の経験と知識ゼロの状態から、2015年に「たでいけ至福の園」をオープンさせました。

絶対に利用者を断らない。介護度が重い人ほど受けて立つ。

ウチに来られる方は本当に困って困って、たどり着いてこられた方ばかりです。そんな人を断ることなんてできません。介護度の重い人だからこそ、資格を持っている人達が本領を発揮するところではないかと思っています。「どんなに重度な方でも絶対に断らない。働く人、利用する人の双方が幸福になる」という起業した当初からの信念を大切に、今後も経営していきたいと思っています。

一昨年に在宅向け訪問介護・看護事業「tetote」をオープンさせました。今後は介護についての啓発活動やハラケアシステム主催のセミナーを開催するためのセミナールームとカフェを融合させた施設の開設を予定しています。

入会してよかったことをお聞かせください。

入会から1年後、「例会の報告者をやってくれないか？」と依頼が飛び込んできました。当時は経営に対して不安しかなく、例会にもたまに参加するくらいしか同友会活動をしていない状況でした。公の場で話すこともしたことがなかったにも関わらず、報告後、参加してくれた人が私の経営に共感してくれて「俺のやっていることは間違っていないんだ！」と実感でき、経営に対する自信がついてきました。同友会活動の学び、特に広報戦略委員会での学びを通して、自社のHPやFacebook・Youtube・公式LINEなどを取り入れた発信力強化が功を奏したのか、そこからだんだんと会社も大きくなり、現在は、パートアルバイトを含めて社員101名になりました。

（株）ハラケアシステム
住所/北諸県郡三股町大字蓼池3637-1
TEL/ 0986-58-7600 FAX/ 0986-58-7601
事業内容/ 介護サービス業(有料老人ホーム、デイサービス、訪問看護、訪問介護、居宅介護支援事業所)

同友会活動を事業に生かし成長させている原さんの様子がとても印象的でした。
代表幹事を引き受け、さらに活躍されている原さんが、これから本業や三股のまちづくりをどうしていくのかワクワクした取材になりました。
インタビューアー：
鍼灸治療院YELL　請関 ひかり
(有)別府損害保険事務所　別府 昭人
合同会社花菜　村山 美佳

これからの展望をお聞かせください

三股町の町づくりにも尽力したいと考えています。

両親が転勤族だったので私にはふるさとと呼べる場所はなく、事業を始めたこの三股町が一番長くお世話になっている場所であり、育ててもらった三股に恩返しがしたいという思いが強いです。

すでに三股町の町づくりに関わり、行政と一緒になって暮らしをよくするための活動に取り組んでいます。現在は介護事業が中心の会社ではありますが、町づくりに関わることで事業の幅を広げ、職員にとっても介護だけでない活躍の場を広げていきたいと考えています。

同友会での人とのつながりや学びの魅力がまだまだ同友会以外の方に伝わっていないと感じています。今期からきりしま支部の代表幹事に互選してもらいましたので、これからは恩返しとしてさらに同友会活動を盛り上げていきたいです。

DO YU 活動ズームアップ

ご結婚おめでとうございます。

(株)日向屋 専務取締役　請関仁さん(県北支部)と鍼灸治療院ＹＥＬＬ 院長　中山ひかりさん(きりしま支部)の結婚披露宴が4月28日にシーガイアコンベンションセンターにて行われました。
お二人は、2023年7月23日に入籍。青年部会での活動を通して愛を育まれてきました。
結婚式では、同友会からも多くの参加があり、お二人の新しい門出をお祝いしました。

新着まだまだ、たくさん活動しています！
活動内容は同友会Facebookでも配信中!!

UP DATE information

住所登録変更

社会保険労務士法人ＡＬＸ
代表　井手真弓さん（宮崎北支部）
新 都城市上東町 17-23
Tel：0986-57-1300　FAX：0986-57-1301
住所登録変更によりきりしま支部所属となります。

（株）クラスター設備工業
代表取締役　黒田茂さん（宮崎北支部）
新 宮崎市島之内 10216
電話番号が0985-41-7719に変更となります。
※FAXの変更はありません。

（株）ハピネス
代表取締役　丸山 将史さん（きりしま支部）
新 都城市松元町 13-12
※電話番号、FAXに変更はありません。

5月理事会報告

日時：5月29日17:00～19:50　於：Zoom会議
理事26名中23名出席（出席率88.5%）＋事務局2名

01. 前回理事会（4月15日）から5月28日までの３名の入会申し込みと1名の退会申出を承認しました。会員数は461名。

02. 県総会および支部総会、青年部会総会の振り返り
(1) 県総会については、組織強化推進協議会での振り返りをもとに、この3年間で最高の参加者数（102名）と参加率（19.7%）であったことや運営について確認。会場について、総会らしいいい会場だったという評価の反面、地理的条件や懇親会費について検討の余地ありという意見もありました。来年度の会場の予約を早期に対応する必要があるため、各支部幹事会でも意見を聞いてくること、事務局で会場候補をさがし、6月理事会で決定することにしました。
(2) 支部総会及び青年部会総会について、それぞれのこの3年間の参加者数・参加率を確認するとともに、各組織の代表より今期活動の目標が述べられました。

03. 9月末までに500名達成に向けての取り組みとして、組織強化推進協議会からの下記3点の提案を確認しました。
①再度ゲスト紹介を要請。
②理事一人が一人の新会員入会を青全交まで実行する。
③アプローチをどこからもできるように各支部のゲストリストを、組織強化推進協議会で共有する。

04. 第５２回青全交in宮崎の準備について下記点を確認しました。
(1) 参加登録状況

	県北	ひむか	宮崎北	宮崎南	きりしま	合計
登録数	23+2	11	31	31	67	153
目標	40	18	80	45	80	263
達成率	63%	61%	39%	47%	84%	59%

・リーフレットは6月中旬完成予定　・登録締切は８月30日（金）
(2) 予算について、予算案を確認。
(3) 各支部及び青年部会での分科会のプレ報告の予定およびその目的、費用対応方針を確認
目的：宮崎青全交のさらなる盛り上げのため、
・支部・委員会行事としてもっと会員を巻き込む
・県外報告者の話を聞ける機会をゲスト入会につなげる
・グループ長育成のため経験できる場を増やす
(4) グループ長研修の開催
6月27日(木)18:30～20:30　会場：宮崎市民プラザ
以後　7月から8月にかけてZoomで5回開催予定

05. 第３３回みやざき中小企業経営フォーラムの準備について、南平実行委員長より開催要綱案について提案があり、開催意義、会場、日程、規模、準備スケジュールについて確認しました。
2024年2月13日(木)に、アルカーサルビエントスと宮交シティ紫陽花ホールを会場に開催します。
第1回実行委員会は6月14日（金）18時から、同友会ネットワークセンターで開催。

06. 自己紹介シートをもとに、各理事の今期の経営目標を交流しました。

07. 学校、他団体からの下記3点の要請とその対応を確認しました。
①宮崎第一高校より、国際マルチメディア科「課題研究」での協力依頼（昨年に続いて2年目）→宮崎南支部で対応。
青年部会へ
①青年会議所より「JCフェスタ2024in日南」大会式典のご案内→請関部会長他3名の幹事が出席
②（一社）宮崎オープンシティ推進協議会（MOC）設立イベント（6月16日(日)13時～17時）への参加依頼→青年部会でブース出店と参加

08. 4月理事会（4月15日）以降の活動の経過報告を確認しました。

DO YU MIYAZAKI journal
発行 / 宮崎県中小企業家同友会　宮崎市恒久南3丁目3-2 恒吉ビル2F
TEL / 0985-50-3665　FAX / 0985-50-3653
info@miyazaki.doyu.jp
宮崎同友会
miyazaki.doyu.jp
青年部公式LINE

宮崎北支部　支部一丸で、青全交を盛り上げ、会員150名へ。

2023年度において宮崎北支部は、会員数141名という結果で終わることができ、支部においても過去最高の会員数となりました。

しかし、既にスタートしている第30期ですが、退会者が5名ということで、幸先の良いスタートとは言えない状況です。

2024年度においては、「原点回帰」をスローガンに活動方針に掲げ、会員、これから入会する新しい仲間に対して、なぜ経営者は学び続け、成長していかなければいけないのか、同友会に何のために入会しているのか、自身・自社は良くなっているのかという目的を再認識できる活動内容を計画します。そのために役員一同、このスローガンの目的を理解し、活動の充実を図ります。そして、地域に強靭な中小企業を増やし、強靭な地域づくりのために、会員増強に取り組み図り期末会員数を150名にします。

今期は、「青全交」が、宮崎市にて開催されます。支部として協力はもちろんのこと、新たな学びや、新たな挑戦が可能な1年となります。この機会を生かし新年度のスタートへ向けて、支部会員一丸となって素晴らしい1年としていきます。

宮崎北支部 代表幹事
㈱アドカム　代表取締役　桑山 直幸
ピシャット内装　代　表　立山 智洋
㈲もりなが　代表取締役　日高 康博
井戸川建設㈱　営業統括部長　光行 新哉

宮崎南支部　宮崎南支部の特色をいかして同友会運動を推進する

この度、我々3名を代表幹事に指名していただき、まずは代表幹事・理事としての役割りについて理解し、会の運営について学ぶことが必要だと考えています。また、支部活動においては、支部会員の声を広く取り入れ、理解し、皆さんに分かりやすい言葉で話して、参加しやすい活動に努めていくことが使命であると考えます。

会員増強のこと、より良い支部例会づくりのことなどやるべきことは多くありますが、「宮崎南支部の特色」を出して、皆さんと学び、解決していきましょう。他の幹事とも力を合わせ、共に魅力ある宮崎南支部にしていきたいと思います。今年度は、9月に青全交、来年2月には宮崎南支部地域での経営フォーラムが開催されます。全国や他支部の会員の実践から学ぶ機会がたくさんあります。学びを実践し、よい会社・よい経営者・よい経営環境をともにめざして、同友会運動を推進していきましょう。

宮崎南支部 代表幹事
ナイフ宮崎　代　表　内布 省吾
㈱ビューフィールド　代表取締役社長　前島 崇志
㈱カーオレンジ　代表取締役　南平 義春

きりしま支部　「自主・民主・連帯」の力で２００名会員を達成するぞ !!

都城市では本年4月に「中小企業・小規模企業振興基本条例」が制定されました。その条例の基本理念には「中小企業・小規模企業の振興は、中小企業・小規模企業が地域経済発展及び雇用の創出に貢献し、地域社会の担い手として市民生活を支える重要な存在であるという基本的認識の下に行われなければならない」とあります。今こそ、中小企業が変革者となり、地域経済発展を担い、「人が育つ会社づくり」「人が育つ地域づくり」に取り組んでいかなければなりません。

今期、きりしま支部は、幹事18名、代表幹事4名の新たな体制でスタートしました。

新体制においては、「ファイト！200！」と銘打って、9月に開催される青全交までに会員を180名、そして期末会員を200名にするという大きな目標を掲げています。

同友会理念の「自主・民主・連帯」の精神を大切に、今期もきりしま支部らしい積極的な部会活動と例会づくりを通して、会員一人ひとりが同友会活動と自社の経営課題を結び付けて考え、自主性をもって参加・活動できる「場」づくりに、真摯に取り組み、会員200名の目標を達成します。青全交の大成功、支部活動と会員企業の活性化を目指して一致団結して突き進んでいきます！！

きりしま支部 代表幹事
優企画㈱　代表取締役　高濱 優子
㈱都城印刷　代表取締役　田中 賢一
㈱ハラケアシステム　代表取締役　原　秀直
ダブルハウス㈱　代表取締役　渡会 真也

青年部会　日本に誇れる経営者に

今期は青全交が宮崎で開催される重要な年です。今回の青全交で青年部会は特別分科会として「あかいし文庫特別分科会」をつくりあげます。この分科会では、宮崎同友会に「あかいし文庫」が設立された経緯、赤石義博氏の思いを愛知同友会・エイペックス(株)の加藤氏、中同協青年部連絡会代表・(有)ウメイチの梅田氏の対談を通し紐解いていきながら、今の時代に「労使見解」をどう生かしていくのか学びあう時間にしていきます。同友会の本質はやはり「労使見解」。この特別な機会は、これからの青年部メンバーを大きく刺激することになることと確信しています。

日経平均株価は堅調な経済成長をみせ、好調な大手企業の利益、増加する海外投資など景気の良さそうなニュースとは裏腹に、中小企業は採用競争の激化や円安中国経済の停滞の影響など不安要素が拭えません。こういう時代だからこそ、自主・民主の精神のもとに共に学ぶ仲間との連帯がさらに重要です。

青全交をつくりあげる過程で同友会の本質を部会としてしっかり深め、県外との交流もさらに加速させて青年部会の会員さんが求める成果を出せるよう部会活動を充実させます。そして青年部会員純増30名という目標を必ず達成し、日本に誇れる経営者を青年部から輩出していきます。

青年部部会長　(株)日向屋　専務取締役　請関　仁

「穂っと穂っと」（就労継続支援A型B型・ケーキ製造販売）

「樹樹」（就労移行支援事業・バイキングレストラン運営）

訪問記 ほうもんき Vol.55

社会福祉法人清樹会

執行理事　岩下 博子さん

［宮崎北支部］

社会福祉法人清樹会は、「ブライトハウス住吉」（就労継続支援事業B型・弁当製造販売）、「樹樹」（就労移行支援事業・バイキングレストラン運営）、「穂っと穂っと」（就労継続支援A型B型・ケーキ製造販売）、「地域生活支援センターすみよし」、地域活動センターⅠ型相談支援事業、「日向の杜」多機能型自動発達支援事業、「アズムレストラン」、「なでしこ」共同生活援助グループホーム、を運営しています。清樹会では理事長を中心にサービス管理責任者、職業指導員、生活支援員が働いています。障がいのある方は、「利用者」として施設を利用しながら、職業訓練や生活支援を受けています。職業訓練では工賃を支払いますが、それはすべて各事業の売り上げからです。利用者への継続的支援を行いながら「経営活動」をしています（現在職員約50名、利用者定員約90名。清樹会は精神、身体、知的の障がいのある方が利用しています）。

「愛（LOVE）」を大切に、「欲」を大切に
障がいのある方に「支援」と「継続」を

清樹会では、一言でいうと障がい福祉サービス事業です。就労支援事業（飲食系）、児童発達支援事業、相談支援事業の3つを展開しています。

私は、高宮病院で30年間ケースワーカーをしてきて、障がいのある方の就労の大切さを知りました。障がいを持っていても高度成長の頃はあった仕事が、オイルショック以降少なくなってきました。それで一時は「就労」ということを諦めていましたが、市民文化センターの中の「コリドール」の運営を任されることになり、「障がいのある方の働く場」を自分でつくろうと思いました。今考えると私は「欲」が深いのでいろんなことをやれたんだろうと思います。「就労の場」づくりをしていくと、次に日常生活の充実が大事になります。社会保障はある程度充実していましたが、生活障害は残っています。特に「食べて健康を保つ」に苦しんでいたので、思い切って「宅配弁当」を始めました。それが「ブライトハウス」です。その後、バイキングレストラン「樹樹」、ケーキ店「穂っと穂っと」、アズムレストランなどの飲食店を展開しました。

大人の精神障がいの方の就労支援をするのはなかなか困難なところがありますが、「小さい時から訓練をすると大人になってから違うよ」と教えてもらったことから児童発達支援事業を始めました。

経営理念は宮崎同友会の「経営指針をつくる会」（一期）でつくりました。「愛・夢・和」です。愛をもって課題を解決したら「夢」ができて和やかになり、いろんなものが収まっていくわけです。職員は自分が幸せでないと、利用者の支援ができないので「自分自身を愛してください」と言い続けています。また、ブライトハウス住吉では「おいしいね。やさしいね・体にいいね」を行動指針にしています。

利用者に「高い工賃」を出すことを一番大事にしています。訓練ありろうとも無償ではいけない。利用者の生活の質の向上が目標なので、そのためには「お金」が必要です。生活の質というのは女性なら「おしゃれをしたい」、「外国製のバッグを買いたい」あるいは「世話になった人にプレゼントをしたい」という普通の生活のことです。

各部門の後継者は育っています。あとは全体を見ることのできる後継者を見つけることですが、理念を継続してくれることが願いです。私は施設以外の方々とも積極的に交流してきました。それで今の私があると考えています。若い方々には多くの人の間を歩いて、そのつながりの中から自身の幸せを気づいて欲しいと思います。

社会福祉法人清樹会
住所/ 宮崎市大字島之内字伊鈴山10243-3
TEL/ 0985-62-5255
FAX/ 0985-62-5266
事業概要/ 障害福祉サービス事業所、弁当製造・販売

岩下さんは、「経営指針をつくる会」の1期生の一人。しかも、当時、福祉サービス事業者の立場での参加に、その先駆性に感動しました。岩下さんのパワフルな語りに時間を忘れた取材でした。

取材　Sun橋（株）土持 秀男
SunPower（株）森田 義孝

広報誌にチラシを同封しませんか？

宮崎同友会会員限定で広報誌にチラシを同封することができます。チラシは、お送りしたい月の前月末までに事務局にお送りください。自社での取り組み、やっていることを他の仲間にも知ってもらいましょう。

チラシの封入は**1部10円**です。

会員460名に封入する場合は、460名×10円で4,600円になります。

ご自身の所在支部のみ、特定の支部だけに封入することも可能です。

同封をお考えの方は一度事務局までご連絡ください。

NEW FACE

今回のご紹介は4月16日～5月21日に入会された2名の新会員さん（支部別・50音順）です。

県北支部	ひむか支部	宮崎北支部	宮崎南支部	きりしま支部	合　計
57名	33名	135名	81名	154名	460名

※2024年5月21日現在

㈱あらた

宮崎北支部

代表取締役　**吉川 大介**さん（42歳）

我が社は、食を通してお客様の体の栄養、心の栄養、心の幸せをお届けする会社です。居酒屋事業(旬彩つちや)は旬の食材を使い、定期的な新商品の開発、店内の雰囲気作りにも心掛けています。配食事業(宅配クック123)は宮崎市と都城市で栄養価計算のされたお弁当や食材をご高齢者のご自宅、施設や病院に届けしています。食品の開発・製造・販売を通して、地域と連携し見守り活動のサーポトまで幅広く行い、食品ビジネスを通して、多くの人と繋がり社会に貢献していきます。

宮崎市高松町2-30第2杏国ビル1F　TEL / 0985-25-3031
業種 / 飲食店(居酒屋)

Good・Come同会社

きりしま支部

代表　**米吉 茂著**さん（45歳）

個人経営は2024年で10年になり、会社設立7年目を迎えます。お店はぶえん海鮮焼肉を営んでおります。まだまだ小さな店ですが、お客様第一に考える店づくりを心がけ、会社としては店舗も増やし、卸売業にチャレンジしていきます。

都城市年田町23-2-1　カーサメドレーマンション1F
TEL / 0986-26-3001　FAX / 0986-26-3001　業種 / 飲食店

匠電工

きりしま支部

吹上 匠さん（24歳）

住宅・弱電工事など電気関係をいろいろしています。

都城市野々見谷町3007-1
TEL / 0986-36-2554　FAX / 0986-36-2554
業種 / 電気工事

2024年にかける 代表理事・各支部代表幹事・青年部会長の決意 !!

理事会　期待に応えられる 宮崎同友会へ

全国では期首会勢4万7499名で新年度を迎え、宮崎県でも過去最高会勢の468名でスタートすることができました。これもひとえに会員の皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。「withコロナ」の定着による社会活動の正常化や、政府の水際対策緩和によるインバウンド需要の復活などにより、国内の人流や個人消費も徐々に回復するなど、社会経済に明るい兆しも見えてきました。

しかしながら、円安や国際情勢が不安定まま、原材料や資源価格の高騰及び物価高により、私達の経営環境は今まで以上の厳しい経営環境に直面しています。しかしながら必ず私達中小企業家はこの課題を敢然と乗り越え、更なる高みに進むものと信じて止みません。

さて宮崎県中小企業家同会は昨年度来、新たな挑戦をし続けています。9月の青全交では全国から多くの会員の皆様をお迎えするために着々と準備が進められて来ています。さらには近年、顕著となっている産官学の連携など、同友会に寄せる期待も大きくなっています。これからも地域のくらしを守るため、これまでの活動、運動を持続し、禍く関係機関等と連携し、会員の皆様の発展と成長及び地域社会の活性化に向け、頼りがいのある存在として貢献してまいります。皆様方のご活躍にご祈念申し上げます。

代表理事
㈱おりなす建材　代表取締役　那須 久司
㈱島大組　代表取締役　宮島 孝美

県北支部　30期目、新たな県北支部づくりのスタート

第30期スローガン「学んで実践、自社の経営課題改善につながる支部づくり！」のもと、代表幹事3名、幹事6名の体制で新たな県北支部づくりに取り組んでいきます。

今期の県北支部は丁寧かつ深掘りできる「例会づくり」を中心に「強くなる」企業づくり、「増やす」仲間づくり、「つなぐ」地域づくりの活動を深めていきます。また、会員増強については、何が原因で増えないのかという根本の課題を掘り下げ、幹事会を中心に議論を重ね、入会したくなる県北支部、経営者の学びの会ということに自信を持ってご案内できる会活動にしていきます。さらに、今期は次世代を担うお二人が新幹事として加わりました。今までにない視点での支部活動の活性化に期待します。

また、今期は青年経営者全国交流会が宮崎の地で開催され、全国から若い力を持った経営者が宮崎に集結します。全国の青年経営者と共に学ぶ素晴らしい機会と捉え、県北支部からも多くの会員さんに参加を促進していきます。

中小企業を取り巻く厳しい経営環境であり、未来を予測しづらい不確実な時代ではありますが、外部環境に左右されない、地域社会から選ばれ、必要とされる企業づくりのための学びの場としての支部活動を実践していきます。

県北支部代表幹事
㈱グローバル・クリーン　代表取締役　税田 和久
㈱コノハナ　代表取締役　塩谷 愛藍
㈱中仙　代表取締役　中山 章博

ひむか支部　次の10年へ、何でも語りあえる仲間づくり

ひむか支部は第11期を迎えました。「児湯西都地区で学びの場を設けたい」、「地域に同友会運動を広げていきたい」等の希望に燃えて支部を設立して10年が経過。2024年度は、これまでの10年の振り返りとこれからのひむか支部10年ビジョンを作成することを議案に盛り込みました。これまでの10年間、支部会員数の伸び悩み、その結果として地域に同友会運動が拡大していないという現実があります。私たちは、真摯にこれを受け止め、まずは、会員の真の課題やニーズが何かを理解するための会員訪問を計画しています。その結果を、例会や学習会のテーマ設定はもちろん、10年ビジョンの策定にも役立てていきます。

また、2025年度はひむか支部地域にて経営フォーラムが開催される予定です。2005年の第14回フォーラムが高鍋で開催され、ひむか支部設立の大きなきっかけとなりました。20年振りのひむか支部地域での開催で、大きな変化を機会にしていきたいと考えています。

毎月何らかの活動をつくっていきます。さらに今年は宮崎青全交の開催年です。まずは一つ参加しましょう。「経営者は孤独」といわれますが、ここには仲間がいます。経営課題や未来のこと等なんでも語りあいましょう。

ひむか支部代表幹事
㈱島子商店　代表取締役会長　川上 幸子
㈲日高設備工業　代表取締役　日高 憲一郎